

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標

- 子ども一人ひとりを大切にし、活力と笑顔あふれる学校にします。
- ・個の学習状況を把握し、学ぶ楽しさを実感できる授業づくりを推進します。
 - ・問題解決的学習を意識して、子どもの表現を大切にしながら学力を向上させます。
 - ・一人ひとりが互いのよさを認め合い、自己有用感のある楽しい学校生活を過ごせるようにします。
 - ・健康な心身をつくるための生活習慣が形成できるようにします。
 - ・まちの「人」とのつながりや中学校との連携を意識し、豊かな体験を通して、地域全体で、まちを愛し生きる力のあふれる子どもを育てます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

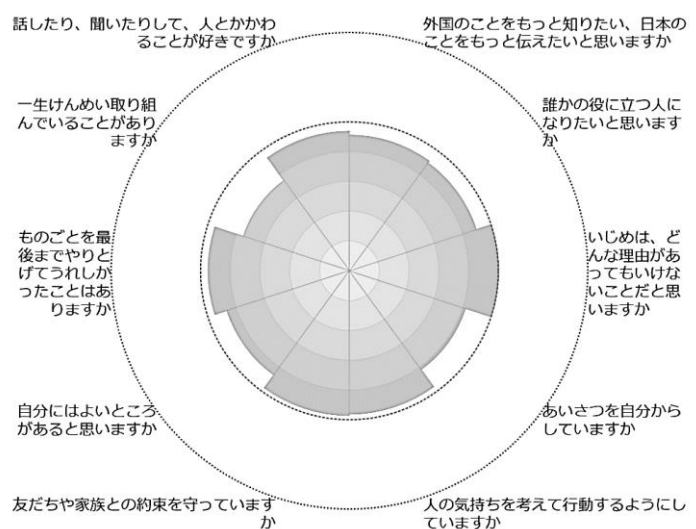
重点取組分野		具体的取組
豊かな心		①異学年交流や異校種との交流を充実させることにより、思いやりの心情を育てるとともに、自分や相手を大切にしようとする心情を育てます。
担当	人権福祉教育推進委員会	②学年に応じて「いのちの学習」を実施し、自分を見つめ、お互いを認め合い、自他のいのちを大切にしようとする態度を育てます。

2 児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

全体的に、落ち着いた態度で学校生活を送ろうとしている。朝会や集会などでは時間通りに集まり、静かに参加するなど、決められたことは行おうとするが、自分で考え判断して行動する力が弱い。約束は守ろうとする姿勢が見られる。つい忘れてしまうこともあり、繰り返しの指導を要する。

横浜市学力・学習状況調査の結果から見ると、全体的に高くはないが、「人の気持ちを考えて行動しようとする」や「いじめはどんな理由があってもいけない」など友達を大切にしようとする意識はもっている。けれども、「自分にはよいところがある」「誰かの役に立つ人になりたい」など自己肯定感や自己有用感とは低いと思われる。

平成29年度 全児童 生活意識 自己意識



3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育

- ・年間指導計画に沿って授業を行い、別葉を常に見直しながら、行事や他教科・領域との関連を重視して実施します。
- ・日常生活の中から問題を見つけ、課題意識をもって学習し、振り返りを行う学習過程を大切にして授業を行います。

【項目 自分づくり教育（キャリア教育）】夢や希望、目標をもてる子どもを育成する自分づくり教育

- ・異学年との交流を通して、自分や相手を大切にしようとする心情を育てます。
- ・自分を見つめお互いを認め合うために、「いのちの学習」を実施します。

【項目 人権教育】「子どもの社会的スキル横浜プログラム」等を活用し、暖かな学級・学校風土を育む授業の工夫

- ・学級風土チェックを複数の教師で行い、そこから見えた課題に沿った「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を道徳・学活を始め、さまざまな教科や朝の会等で実施します。
- ・体験的な活動を通して、一人ひとりの違いを認め、お互いを尊重し合い、思いやりの心をもてるような人権学習を計画的に実施します。

【項目 幼保小中高の連携と接続】「自分づくり教育キャリア教育」の位置付け

- ・異校種（保育園・中学校・特別支援学校など）との交流を深め、思いやりの心情を育てます。
- ・それぞれの段階での学びの現状を理解し、体験的活動を実施します。